がっこう動物新聞

日本小動物獣医師会版
2013年
第７号（通算）

今回のテーマは「学校でどんな動物が飼育にむいているかな？」です。

もちろん、どの動物も学校がお休みの日に、当番を決めて面倒を見なければならない。

命に休みはないのです！

ウサギ

よいところ

- 優しくて、おとなしいイメージがあるけれど、実は頑固で、それがまたかわいい。
- 慣れるとおとなしくなる子もいる。
- 飼育舎で飼育できるので３～４年生の学年飼育に向いている。

こまったところ

- 飼育舎も床材や運動場の整備、暑さや寒さの対策が必要。

１～２年生にはちょっと扱いづらい

ニワトリ

よいところ

- 家族が仲良く暮らしている様子が見られる。
- 人間を見分けることが出来るので、優しい子にはなつく。

新鮮な卵が食べられる！

こまったところ

- 卵を毎朝集めなくてはならない。
- 鳥インフルエンザのことも心配なので、飼育舎には屋根が必要。

ハムスター

よいところ

- 体が小さく場所をとらないため、学校がお休みでも自宅に持ち帰ることができる。
- 寿命も短いため、世話の時間やエサ代もかからない、一生懸命に生きているという様子を見せてくれる。
- 両手で持ってエサを食べる姿がカワイイ！

抱っこがむずかしい

こまったところ

- 夜に動き回るため、昼間は寝ていることが多い。
- 自由に遊びたくて、逃げ出すくせがあるハムスターがいる。

モルモット

よいところ

- 臆病だけれど、体重も１～1.5キログラムなので１～２年生でも飼育が出来る。
- 鳴き声で感情がわかるため、世話をしていて楽しい！

ウンチがたくさん出る！

こまったところ

- 臆病なので、教室内での飼育にストレスを感じることがある。

野生動物

野生動物はペットではないので飼育をしてはいけない。野生動物を拾ったら、先生や獣医さんに話して「鳥獣保護センター」に連絡するようにしようね。

獣医さんがおすすめできない動物

大型獣

飼育舎はおおがかりなものが必要だし、世話も大変。もし病気になっても、町の動物病院の獣医さんでは扱えないことがある。

補助犬を知っていますか？

目の見えない人のお手伝いをしてくれるのが**盲導犬**

耳の聞こえない人のお手伝いをしてくれるのが**聴導犬**

体の不自由な人のお手伝いをしてくれるのが**介助犬**

この３つを「補助犬」といいます。

もし町で見かけたら、仕事の邪魔にならないように、心の中で「がんばれ！」と応援してね。

獣医師会は、学校の動物飼育を応援しています。学校で飼育している動物のことならどんなことでもご相談ください。

連絡先
一般社団法人
日本小動物獣医師会
〒105-0014　東京都港区芝2-5-7 芝JIビル5階
TEL 03-5419-8465

●構成・イラスト：熊谷さとし　●レイアウト・印刷：ニシ工芸株式会社